

「香川県シェイクアウト」参加者の声

「訓練に参加することで、防災について改めて気づいたこと」



【小学校・中学校】

- 子どもたちは、いつ、どこで被災するかによって、自分の身を守る方法も考えて判断しなければならないことを学びました。いろいろな場合を想定した訓練を実施することが大切だと思いました。
- 学校以外で、児童だけの時に地震がおこった場合、自分で考えて行動できる力をつける必要があると感じました。家庭にも避難場所等を話し合うように呼びかけました。
- 実際に学校で震度3の地震が起こった時、児童が素早く机の下に避難することができていたのは、日頃のシェイクアウトを含めた訓練の成果であると思います。訓練の必要性を再認識しました。
- 事前準備（避難計画、点呼リストの作成等）と事後の振り返りにより、児童たちも自分事として訓練を捉えられていたと感じました。

【行政機関・公的機関】

- 災害発生時は冷静に素早く判断し、適切な行動をとる必要があるが、これは日頃から訓練をしていないと出来ないことだと改めて感じました。
- 資機材や食料等の備蓄など発災後の対策を進めていますが、最優先すべきことはまず身を守る行動であることを改めて意識することができました。
- 窓口に来ている来客者に対してもどのような案内をするべきなのかを考えるいい機会になった。

【保育所・幼稚園・こども園】

- 訓練時の1分間は、短く感じる子もいたが、実際に地震が起きた時に揺れが1分間続くというのは、とても恐怖だと思うので、日頃から災害時のことを想定しながら訓練を行うことが大切であると感じました。
- 保育室の棚等は固定してあるが、今一度点検を行った。定期的にチェックをするのを忘れないようにしたいです。
- 放送を聞き、3つの身を守る安全行動は、子どもたちも指示をよく聞き動くこと

はできました。どうして頭を守る必要があるのか、どうすれば自分の身を安全に守れるのかを考えて行動する大切さについて一緒に考えました。

- 時間によって子どもたちや職員の居場所が異なるため、様々な時間帯、居場所に適した避難や身の守り方を職員間で共有しておく必要があると思いました。
- 県下一斉に訓練を行うことは、職員や保護者の防災意識を高めることにもつながります。訓練の様子をお便りで保護者に知らせ、安全行動について啓発をすることができてよかったです。
- 机の下に隠れる、ダンゴムシのポーズをとるよう声をかけると、園児たちが体を小さくして身を守っていた。全員が速やかに避難でき、日々の訓練の積み重ねの重要性を感じた。

【企業】

- シェイクアウトの訓練音声の、地震動継続時間が1分間でしたが非常に長く感じました。これが訓練でなく実際の災害であったらと思うと、ぞっとしました。
- 机の下に入って身を守るといっても、職場の机となればいろいろな物があり、机の下に入ることが難しいところがありました。各自が身の回りの整理整頓、避難用具の置き場所等を考えるのによい機会となりました。
- シェイクアウトに合わせて、地震による火災発生の想定で消防訓練を実施しました。想定や出火場所を変えることで職員から質問が寄せられて、職員の意識や行動が変わったと感ずることができました。

【医療・福祉関係機関】

- 介護施設ですが、入所者は車いすの方が多いため、避難行動に制限があります。その中で職員が自分の身を守りながら、利用者様の生命を守れるか考えさせられました。今後も訓練に参加し、啓発してまいります。
- 高齢者でも理解しやすい言葉や動作、声掛けの方法を考えて対応することが大事だと思いました。
- 毎年施設全体でシェイクアウト訓練参加を行っていますが、その都度今後起こりうるであろう巨大地震に備えて、職員やご利用者、関係者の施設や職場、家庭での防災への意識の向上につながっています。家具固定等の点検も毎年この機会に行っています。

